

---

# 痛み

翠

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

痛み

### 【著者名】

翠

N4576A

### 【あらすじ】

転校の決まった彼を好きだと気付く少女。胸の痛みは何なのか。  
それに気付けた時、痛みは何に変わるのであるか。

(前書き)

なんとなく書いてみました。  
転校なんてベタだけど・・・。  
どうぞ読んでみてください。

痛い・・・

途方もなく痛い・・・

この痛みの理由は何・・・？

貴方が居なくなつてしまつから？

「貴方」なんて・・・笑っちゃうね。

昨日までは「あいつ」だったのに・・・。  
でも、もう私は気付いてしまった。

私は貴方が好き。

本当は違うのかもしれない。

もしかしたらまつたく別の感情なのかもしれない。  
それでも、私はこの気持ちが「恋」だと思いたい。  
こんなにも切なくて。痛くて。苦しくて。涙が出そつで。  
こんな気持ちを「恋」と言つのだと・・・。  
そう思いたい。

「俺、転校すんだ・・・」

部活の後いきなり言われたこの一言。

「えっ？」

私の驚く顔を見て笑う貴方。

私は何故かその瞬間初めて貴方の笑顔が愛しく思えた。  
日の光に当たつて輪郭がはつきり見える。

見慣れた貴方の顔が別人みたい・・・。

「あっ、そう・・・。」

これしか返せなかつた。

「こんどの金曜で最後。まあ、お前としては嬉しい事かもしない  
けどさ。でも、やっぱ言つ  
といつと思つて。」

なんて言えばいい？

そんな顔しないでよ・・・」いつまで哀しくなっちゃう・・・。

なにも言えないでいると

「じゃあな。また明日。」

それだけ言い残して行つてしまつた。

「つづ待つて！」

やつとの事で口から出た時には貴方はもう聞こえない位置まで行つてしまつていた。

涙が伝い落ちる。

痛い・・・

どうしよう、痛いよ・・・。

視界が滲んで前がよく見えない。

貴方が行つてしまふ。

私の手が触れられないところまで・・・。

私の声が聞こえないところまで・・・。

私の想いが届かないところまで・・・。

行つてしまつ・・・遠い所へ貴方は・・・。

行かないで、行かないで・・・！

そう思つてしまつた。

そう願つてしまつた。

私は貴方が好きなんだ・・・。

そう気付いてしまつた。

痛い。

途方もない痛みだ。

この想いに、この痛みに感謝しよう。

貴方と今こうして手をつなげていることに。

痛みは時として人を動かす力になる。

あの時、私が言えた一言が今につながつてゐる・・・。

そう思うと嬉しいくてしかたない。

貴方と手をつなげてる、この一瞬が大切でしかたない。  
この手の温もりが切ない。

この手を放したくない。

「好きだよ。これからもきつとずつと。」

太陽の光の下そう言つてくれた貴方の照れた顔が眩しい。

痛い。

こんなにも痛い。

貴方の全てが私の心の奥底を傷め続ける。  
大切で、眩しくて、愛しくて・・・。

痛い。

涙が出そつなくらい貴方が・・・  
好き。

(後書き)

どうでしたか？

一作田と雰囲気が違うので、「ん？」っと思ったかもしれませんのが、最後まで読んでいただき有難うござります。なんだか未熟さが滲み出ますが、これも私の一つです。

「意見・」感想お待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4576a/>

---

痛み

2010年10月11日00時19分発行